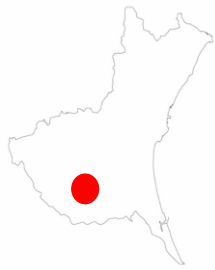


- 生活デザイン学芸員(外国人起業家等)による日本遺産牛久の農ブランディングアート&クラフトの具現化
- 牛久の地域文化資源を食と農の視点から再編集、アート&クラフト(半農半匠)のライフスタイルを開発
- 外国人起業家等を養成し、ギャラリー一乃望等を活用した参加型農のミュージアムグッズづくりを展開

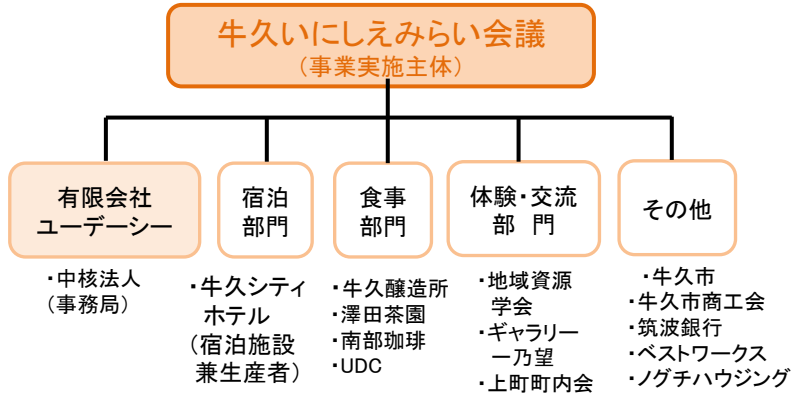
茨城県牛久市



【採択年度】
令和5年度

【事業実施期間】
令和5～6年度

【実施体制】



【特徴的な取組】

- 生きるチカラを育む食のアート体験(牛久沼湖畔の景観活用)
- 景観とアート、食をリンクしたしつらえ(食の素材、調理に加え、空間、器、その他の道具などの意匠とリンクしたサービス商品と位置づけ、最高のおもなしができるしつらえをデザイン)
- 農とアート、健康をリンクした楽習プログラム
- ・ミュージアムグッズを糸口に、医食同源をテーマに講座を開催



【取組内容】

- ①食と農とアート空間をリンクした農泊ビジネス構築(市民の意識あわせ)**
 - ・日本遺産の牛久で誕生したアート&クラフトを糸口に食の物語を創造するための資源調査(1年目)
 - ・茶室とギャラリーのある伝統家屋「ギャラリー一乃望」で食と農を楽しむプログラム開発(1・2年目)と、牛久の大地の力を知る食の商品を開発(2年目)
- ②農とアート&クラフトを創造し、滞在・来訪需要獲得(ワークショップ)**
 - ・外国人起業家等を結集し、本事業にて活用するための人材確保(1年目)
 - ・デザイナー・地域案内人として、なりわいの創造と地域案内を実践(2年目)
 - ・生産者とアーティスト、来訪者をつなぐ農のファシリテーターの育成(2年目)
 - ・将来的に定住を見据えたお試し移住制度の強化(2年目)
- ③インバウンド向けコンテンツの開発(市民参加型商品開発)**
 - ・食と農とアート&クラフトを物語化した空間で、いのちの輝きをいただく総合的な食のスタイルを創造し、高付加価値型の滞在型宿泊マーケットのコンテンツとして活用・食とアートをリンクした、生産者と生活者主導のミュージアムグッズの開発(1・2年目)
 - ・生産者の手間を価値に変える地域案内人の活動と商品価値形成(2年目)
- ④地域特産品(ミュージアムグッズ)による自走化(出口戦略と販路開拓)**
 - ・消費者参加型の商品開発による市民発信強化(1・2年目)
 - ・農とアートを融合したおもてなしプログラムの県外・国外への発信(1・2年目)
 - ・アート&クラフト導入部分の商品販売ルートの開発・確保と、滞在価値を伝える商品の構築(1年目)

宿泊施設の対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約



地域の活動拠点となる「一乃望」



牛久ワイン発祥の施設「牛久シャトー」